

国際航空運送協会 (IATA) プレスリリースについて

4月1日、国際航空運送協会(IATA)は、「国連機関が日本の航空の安全を確認～旅客へのスクリーニングは不要～」との件名で新たにプレスリリースを行い、同協会のウェブサイトに掲載したところ、概要以下のとおり。

1. 国連の6機関（世界保健機構（WHO）、国際原子力機関（IAEA）、世界気象機関（WMO）、国際海事機関（IMO）、国際民間航空機関（ICAO）、世界観光機関（WTO））が、福島第一原子力発電所の監視結果として健康上、又は輸送の安全上の危険がないこと、現時点で日本から到着する旅客に対し、放射能に関するスクリーニングを行う必要はないことを確認したことを歓迎。
2. 航空局の専用ウェブサイト (http://www.mlit.go.jp/koku/flyjapan_en/) で最新状況の確認が可能。
3. IATA事務総長ジョバニ・ビジニャーニ氏は、「透明で継続的な状況監視の結果、日本の当局と国際機関が、引き続き日本の空港が旅客及び従業員に対してオープンで安全であることを確認した。各国の政府と事業者は、この危機に対して専門家がアドバイスする知見に従って行動することが重要である。改めて、国連により、日本からの到着旅客に対してスクリーニングを行う必要がないことが確認された。」とコメント。